

# キャピラリー型ウェスタンシステム法のご紹介



電気泳動、免疫化学発光をキャピラリー内で行います。従来のウェスタン検出に比べ約1/10のサンプル量でより高感度に、かつ幅広い分子量をカバーします。(2-440kDa)  
30分程度の試薬調整後、機器にセットしスタートボタンを押すだけで約3時間後に結果を得ることが可能です。  
最大サンプル数は13または25サンプルプレートを使用し最大スループットは72サンプル/日まで使用可能です。

セミナー日時 : 2017年8月31日(木) 13:30~14:00  
セミナー場所 : 長崎大学遺伝子実験施設

スタートから  
データ出力までわずか

3時間

3時間

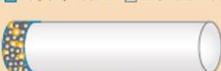


キャピラリーカートリッジと  
プレートをWesにセット  
スタートボタンを押す

全てのステップはキャピラリー内で行われ、全自動化されています



キャピラリー内に  
マトリクス(ゲル)をロード  
4分間  
 スタッキングマトリクス  セパレーションマトリクス



サンプルをロード  
1分間  
● 高分子量 ● 低分子量



電気泳動  
(タンパク質をその分子量に  
基づきキャピラリー内で分離)  
25分間



UV光でタンパク質を  
キャピラリー内に固定  
(キャピラリー内にある化学物質と  
タンパク質が光化学反応で共有結合し、  
タンパク質が容易にトランプされる)



ゲルマトリクスを洗い流し、  
プロッキング剤、一次抗体と反応  
36分間



HRP標識二次抗体と反応  
30分間

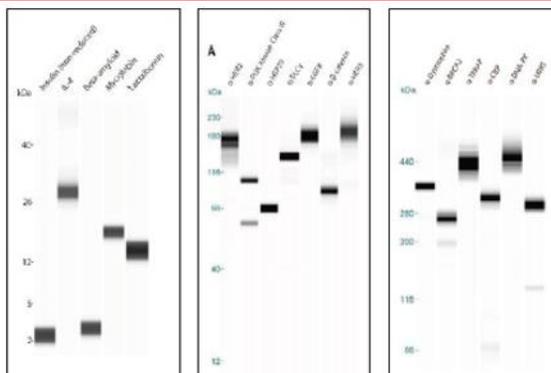


発光基質をロードし発光を  
CCDカメラで検出  
15分間



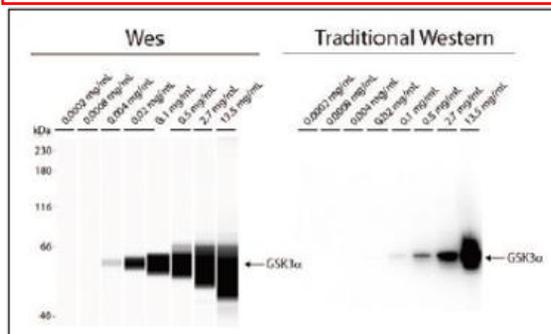
解析データの出力  
5分間  
カートリッジ(廃液含む)と  
プレートを廃棄  
終了

## ● 2-440kDaの幅広い分子量をカバー



2-40 kDa用アッセイ 12-230 kDa用アッセイ 66-440 kDa用アッセイ

## ● 従来のウェスタンブロットよりも高感度



お問い合わせ先

プロテインシンプルジャパン株式会社 担当: 樋口慎一郎

Tel: 03-5542-1436

Email: Shinichiro.Higuchi@proteinsimple.com

# Single Cell Western法のご紹介

Miloはシングルセルレベルでのタンパク質発現解析装置です。チップ上にて細胞の分配、溶解、電気泳動、固定を自動で行い1,000個以上の細胞に対してシングルセルウェスタン(ScWesterns)を行います。蛍光ラベルで複数の抗体を使用し最大4種類までのターゲットタンパク質の検出が可能です。

シングルセルのRNA標的のタンパク質発現を直接検証できるため遺伝子発現の結果がより確実なものとなります。

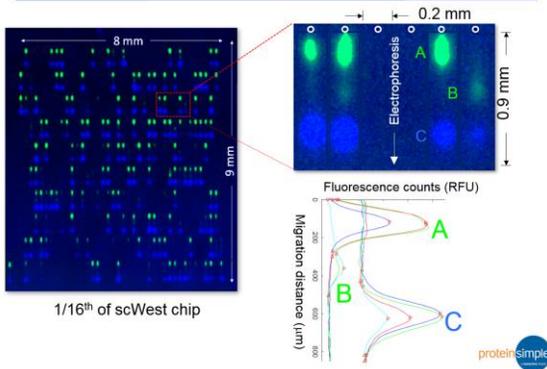
セミナー日時 : 2017年8月31日(木) 14:00~14:30  
 セミナー場所 : 長崎大学遺伝子実験施設

## 測定ワークフロー

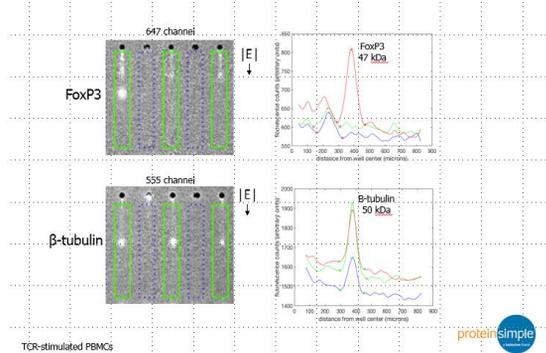
Miloは専用のscWest™チップを使用して約4時間でシングルセルウェスタンの結果が得られます。細胞懸濁液をロードすると、scWestチップは細胞を分配し、1000~2000個の個別細胞を捕獲します。Miloは、その後、チップ上の各シングルセルライセートを高速、1分間のSDS-PAGE分離を行います。そしてチップ上で、細胞当たり最大4ターゲットを同時にプローブし、マイクロアレイスキャナーでデータを取得します。



## 1000+ シングルセルの分離



## Milo enables facile detection of FoxP3 in PBMCs



お問い合わせ先

プロテインシンプルジャパン株式会社 担当: 樋口慎一郎

Tel: 03-5542-1436

Email: Shinichiro.Higuchi@proteinsimple.com